活動計画概要

地域ネットワーク部会

平成26年1月10日

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万人当たり）を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】**住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。**

中期目標：2015年までにすべての病院・施設がパスについて知識をもち、各医療機関の医療資源を把握し、有効活用する

指標：パス患者適用率 ｜ 測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

最終目標　：2018年までに県民が希望する医療を受けられるよう、患者の意見を聞き、希望するすべての患者にパスを適用し、地元の施設に係る患者の増加、拠点病院の集中化解消を行う。

指標：パス患者適用率 ｜ 測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標 1】
医療者、行政などから医療機関の機能や役割が見え医療資源が適切に有効活用される。

【アウトカム目標 2】
クリティカルパスの認知度の向上

【アウトカム目標 3】
地元の施設にかかる患者の増加

施策毎のアウトプット目標

【アウトプット目標1】
2013年3月までに院内がん登録データを収集し、院内がん登録データを用いて症例区分を集計する。

【アウトプット目標2】
2015年3月までに、離島、院内、かかりつけ施設、一般向けに研修会を行う

【アウトプット目標3】
2014年6月までに私のカルテ（A5版）を配布及びHPに公開する。

【アウトプット目標4】
2015年3月までに各地区医師会とのコミュニティの場を設定し、沖縄県のがん医療連携における課題・要望を把握する。

【アウトプット目標5】
2015年6月までに化学療法のパスを作成する。

【アウトプット目標6】
2014年3月までに、術後以外のパスを作成し、4月に研修会を行う

【アウトプット目標7】
2015年3月までに肺がん10人、胃がん30人、肝がん10人、大腸がん60人、乳がん120人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標8】
2015年3月までに前立腺がん10人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標9】
2015年3月まで1人に緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスを運用する

【アウトプット目標10】
2015年3月までに小児がん・希少がん医療連携について検討を開始する

【アウトプット目標11】
毎年、部会委員が発表する2015年3月までに論文を作成する

施策アクションプラン

【施策1】
八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分（診断のみ、診断+治療、治療開始後など）」を集計し、診療実態を明らかにする。

【施策2】
がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

【施策3】
私のカルテの改訂を行う。

【施策4】
がん診療連携の在り方を検討する

【施策5】
胃がんと大腸がんの化学療法のパスを作成する。

【施策6】
術後フォロー以外の前立腺がん地域連携パスを作成する

【施策7】
肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行い、適用数を増やす。

【施策8】
前立腺がん地域連携パスの、適用数を増やす

【施策9】
症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携パスを緩和ケア部会と合同で作成・運用する

【施策10】
小児がんはWG開催し、希少がんはWGを設置する

【施策11】
地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目 1】
医療者、行政などすべてに対する情報不足の解消

【対策項目 2】
地元医療施設での治療の促進